

女性の美と健康に関係する女性ホルモン！

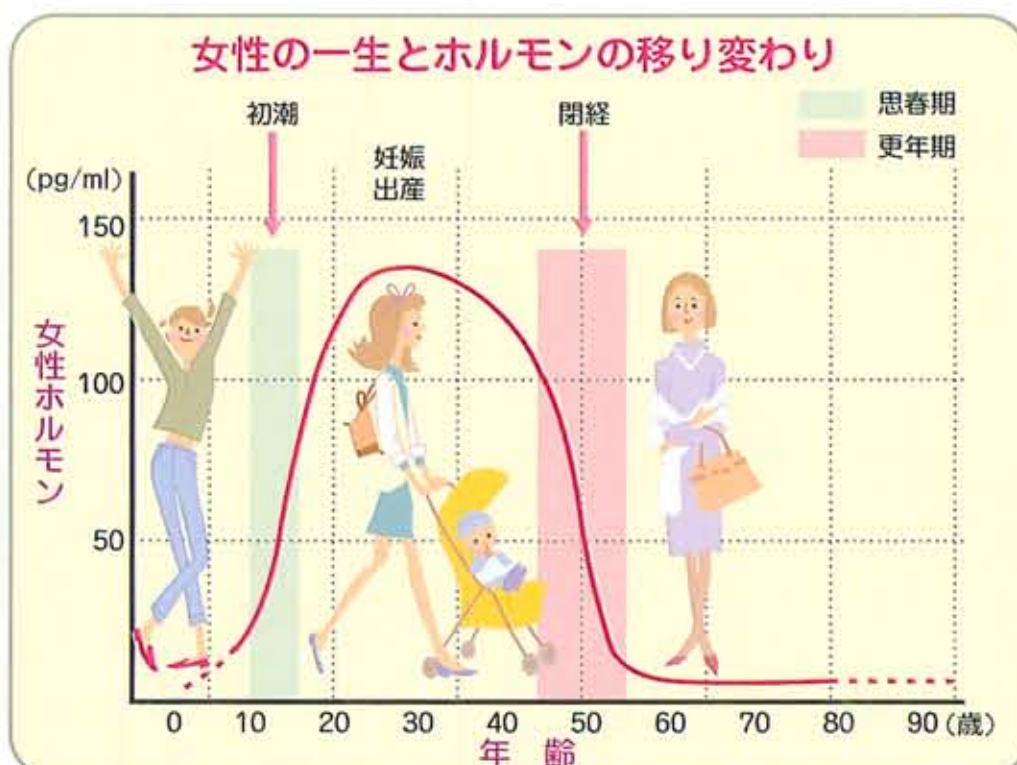
女性ホルモンが少なくなると

体の部分	エストロゲンの働き	結果
皮膚	皮膚に開く細胞を活性化させるエストロゲン。若い女性の肌は皮膚表面の組織に弾力成分であるコラーゲンが多く含まれています。	エストロゲンはコラーゲンを作る繊維芽細胞を活性化するので、エストロゲンが減ると肌の弾力成分であるコラーゲンも減少し皮膚にしわやたるみが目立つのです。
脂質代謝	エストロゲンには血液中のコレステロール値を下げる働きがあります。	閉経を迎える年齢になると、エストロゲンが減り、急激に女性のコレステロール値が上がることになります。
膣	膣粘膜のテールライン層は常に膣内の細菌の繁殖を防いでいます。	エストロゲンはこの層の栄養を担い、さらに膣粘膜細胞の増殖を促し、層を厚く保つので、更年期になると膣が乾燥します。
体温	エストロゲンは視床下部の体温調節中枢に働き、体温を下げます。	もう一つの女性ホルモン「プロゲステロン」は体温を上げるので、女性は高温期・低温期が交互にあります。エストロゲン不足になると体温が下がらず、更年期にはほてりや発汗、のぼせるなどの症状があります。
髪	エストロゲンは毛を成長させる指令を与え、コラーゲンを作り、抜けないように髪を伸ばします。	エストロゲン不足が更年期の抜け毛や髪の薄くなる原因となります。
骨	エストロゲンは骨の成長や骨量の維持に重要な役割を持ちます。	骨芽細胞の増殖を促し、骨の再生を高める作用がありますが、エストロゲンの分泌が減少する閉経期には、骨粗鬆症が多くなります。

美しいお肌を保つために

女性のお肌が最も美しい時期は18～25歳。潤い・ハリがあり、輝く年齢。ところが加齢とともにシミやシワが増え、乾燥しがちに。更年期に入る頃から急に肌トラブルも多くなるその原因は、**女性ホルモンの急激な減少**。女性ホルモンは、肌の水分量を増やし弾力性を保つ働き。だから美しい肌を保つには一定量の女性ホルモンが必要です。実際、女性ホルモンの実験で肌状況に潤いが増し、ツヤやハリが戻り、シミやシワが薄くなったといえます。

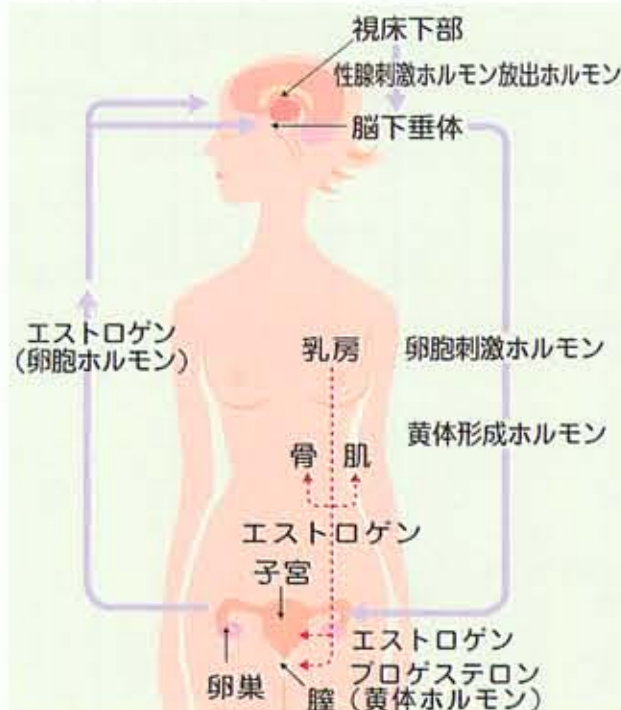
あなたのホルモンバランスは正常？



「ストレス」が女性ホルモンをかき乱して美しさを奪う！

女性の美しさや女性ホルモンの分泌

女性本来の美しいバストやウェスト・ヒップのメリハリや曲線、そして肌の潤い…これらは、女性ホルモンの働きのおかげ。女性ホルモンには**エストロゲン**と**プロゲステロン**があり、エストロゲンは女性独特の丸みのある体を作り、お肌の潤いを保ち、コラーゲンの再生能力を高めるなど、**女性本来の美しさをキープする働き**が。またプロゲステロンには乳房をさらにふくらませたり、体温上昇や受精卵をうまく子宮内膜に着床させる作用があります。



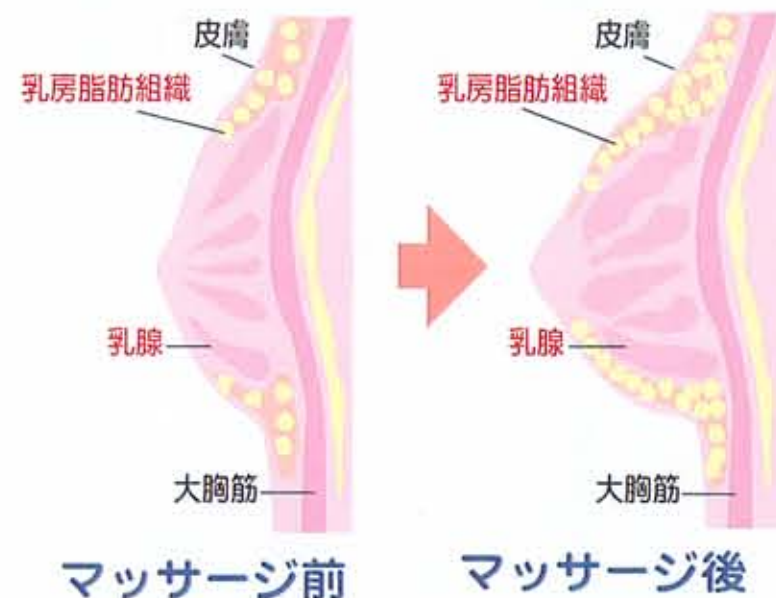
特集

チャレンジプロジェクト

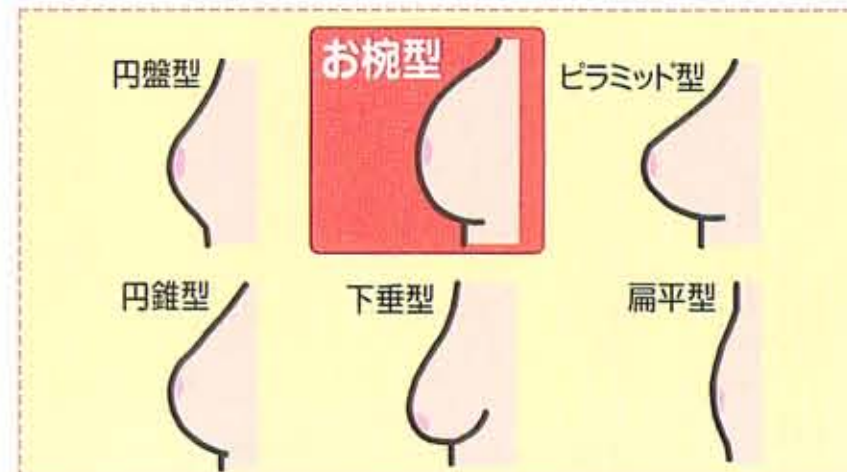
女ならやっぱり、いつまでもキレイでいたい！

「美しい人」宣言

バストアップ成分配合ジェルとマッサージでバストのボリュームアップ！



めざせ！理想の「お椀型」バスト！



バストの形は上の6タイプに分けられるようで、「円盤型」は日本人にいちばん多い平均的な形。理想的なバストの形と評されるのは「お椀型」でしょうか。丸くこんもりとしているのが特長です。グラビア雑誌によく見られる、前に大きく突き出た「ピラミッド型」は、セクシーですがハリがなくなると垂れがちに。さて、あなたは何型？

あなたの理想サイズを計算！

理想のバストサイズが簡単にわかる計算式

$$\text{身長} \times 0.53$$

(例) 身長160センチなら $160 \times 0.53 = 84.38\text{cm}$

$$\text{cm} \times 0.53 = \text{あなたの理想は } \boxed{} \text{ cm}$$



豊かなバストはどうやって？

- ★バストの中身は、90%の脂肪組織と10%の乳腺。つまりバストの中の脂肪量が多ければバストも大きいのです。
- ★バストの脂肪の量は乳腺の発達で決まります。乳腺とは、母乳を出す器官で、乳首の周りを囲んでいる部分。触るとコリコリしているところです。
- ★乳腺を発達させるには、女性ホルモン【エストロゲン(卵胞ホルモン)・プロゲステロン(黄体ホルモン)】の十分な分泌が必要。女性ホルモンが多いほど、体に丸みが出てバストも大きくなるのです。
- ★成長期にダイエットやストレス、スポーツ等の影響で、十分な女性ホルモンが分泌されないと、バストは成長しません。

- ★平均的に、バストは片方で重さ180cc～330cc(牛乳ビン約2本分)もあるそうで、その重みを支えるのが1枚の薄い皮膚と大胸筋。
- ★大胸筋が老化し、重さに耐えられなくなると「バストが垂れる」「ハリが無くなる」「小さくなる」など悪影響が。
- ★「鍛えれば？」といっても、大胸筋だけを鍛えても皮膚のハリが無いとバストの重みを支えられません。大胸筋と皮膚のハリ。この両方が、ツンと上を向いた、美しいバストには必要。豊かでハリのある美しいバストは、下の三つが大きな役目をするのです。

●乳腺 ●大胸筋 ●デコルテの皮膚

- ★女性ホルモンを活性化すれば、成長期を過ぎてもバストを大きくできます。
- ★デコルテやバスト回りのマッサージで皮膚の新陳代謝と血行を促進。バストにツヤ・ハリを出し、乳腺刺激マッサージで、乳腺の発達を促しバストアップが図れ、バストのタルミを防ぐと共に、乳ガンの早期発見にもつながります。

女性とマカ

「マカ」は、アンデス地方の標高3,300～4,000mの高地で栽培されている宿根性植物。ミネラルを豊富に含んだ土壌で育ち、日中は太陽光が厳しく夜は零下10℃にも下がり霜が多いという、激しい気温差に耐えて育つ、**生命力にあふれた植物**です。

栄養素を豊富に含むマカの主成分はたんぱく質。各種の必須アミノ酸(特にリジン、アルギニン)が多く含まれ、各種ビタミン(B1, B2, B6, B12, C, E)、ミネラル(カルシウム、リン、鉄、銅)などの栄養成分が豊富。

ヨード、亜鉛、アントシアニン、サボニンという体内活性成分も多いので、これらの成分が脳下垂体にやさしく働きかけ、女性ホルモンのエストロゲン(卵胞ホルモン)・プロゲステロン(黄体ホルモン)などの、体内で必要なホルモンの分泌を促進する助けとなるといわれています。

「マカ」は『食べるだけで若返る幻の食材!』と紹介されることも。若さという大切な宝を守ってくれそうですね。

女を捨てた時から老いが始まる! ひとつで五役! Gelイリュージョン! ELF-5でのお手入れがベスト!

たるみを寄せ付けないフェイスやデコルテ!

引力に負けないバストやボディ!

間近で肌や首筋を見られても怖くない?!



あなた、脱いでもボリュームも形も同じ?!

- 「私のこと?」と
思い当たる方!
- 「寄せて上げて」いるのに谷間ができない!
 - 鎖骨の下の骨まで見えるのがツライ!
 - 実はいつも底上げブラ
 - 女らしい丸みのある体が憧れだ
 - ヒップアップガードルが手放せない
 - 子供体形といわれた
 - ホルモンバランスが悪く、二の腕にプツツができることがある



年には勝てない...と思った人に「老化」はやってくる!

- 私のことじゃないかしら!
- 「補整下着」を持っている
 - 二の腕の振り袖...、首筋のシワ、あこのタルミ...思い当たる~
 - ノースリープはもう着ない
 - 温泉での同窓会...旧友に裸は見せられたもんじゃない
 - 昔は結構巨乳自慢...、今はトップの位置が7センチは落ちた
 - 隠せない手の甲のシワやたるみが気になる
 - バストの膨らみが体の横や背中に流れる

これだけの成分を入れると、本当に値段が高つくんです。だから、なかなか実現しなかったんだけど...!



「女性の本当の魅力をアップさせる成分」って何?!

有効成分	働き	ここにアプローチ
サーマサーモフィルス培養物	好熱菌発酵物【サーマサーモフィルス培養物】は、深度2000m・75℃・圧力200バールに耐える微生物。強力な酸化防止効果を示す。深海水に生息。ラジカル酸素種の抑制、UVダメージを受けた皮膚細胞を修復する。熱で活性化するのでお風呂上りやマッサージ熱が効果的。紫外線にも安定し、永続的な酵素の効果を得られる。	活性酸素抑制、抗UV&修復
ラネラ/ダイズタンパク発酵物	フランスのバイオ技術専門の研究施設で生まれた、皮膚内の異なった因子に作用する成分。皮膚の弾力と引き締めにも優れ、コラーゲンとエラスチン合成を促進する。	女性ホルモン、細胞活性化
クレアチン	生命維持に不可欠なアデノシン三リン酸(ATP)を補給する物質で、細胞のエネルギーを供給し、新陳代謝に働く。老化した皮膚やUVストレスを受けた皮膚の回復剤として使われる。アクネ・シミ・ソバカス治療にも効果が。	細胞活性化、活性酸素抑制、抗UV&修復
フェアラリアミリフィカ根エキス	マメ科クズ属の植物でその根に植物エストロゲン成分を含んでいる。体内で女性ホルモンと同様の働きをし、パワーは大豆のほぼ40倍とも。さらに大豆にはないクワクリン、フェアラリン、ミロエステロール、デオキシミロエステルといった健康に良い植物性の機能性成分が含まれ、たるんだ皮膚を引き締め美肌を望める。	細胞活性化、女性ホルモン
ダイズエキス	ダイズエキス成分「イソフラボン」は、女性の「卵巣ホルモン」と同様の作用を示し、細胞の生まれ変わりを促す「細胞賦活作用」があり、新陳代謝も促進させる。美白、ハリやツヤのためにも優れた働きをする。	細胞活性化、女性ホルモン
ザクロエキス	「女性ホルモン」の一つである「エストロゲン」に類似した物質が多量に含まれ、活性酸素を防ぐ抗酸化成分も存在し、美肌などに役立つ。ザクロにはエストロゲンの中でも作用の強い女性ホルモン様物質が種子に多量に含まれている。	女性ホルモン、活性酸素抑制
アルテミアエキス	肌の細胞に本来備わっているタンパク質で紫外線や有害物質から保護しダメージを受けた損傷した肌細胞DNAを修復する「ヒートショックプロテイン(HSP)」の産生作用を持つ。同時に角質層の新陳代謝を正常化させ、衰えた代謝を活性化しコラーゲンの合成を促進する。	細胞活性化、活性酸素抑制、抗UV&修復
バルミトイルオリゴペプチド	バルミチン酸とオリゴブドウ糖から得られる成分。保湿・皮膚保護作用の他、肌に弾力を与える働きがあり、ビタミンCやレチノールよりもシワの深さと長さを回復するのに優れているという報告も。	活性酸素抑制、抗UV&修復
ハナスゲ根エキス	ユリ科の「ハナスゲ」の根に含まれる「サルササボゲニン」という成分が発見され、脂肪細胞の増殖、分解を刺激、脂肪蓄積を促進し、脂肪組織のボリュームを増加させる働きがあることが認められた。	細胞活性化

冷静な目でボディチェック!
「えっ、何このライン?」と思ったら!

女性ホルモンに似た(女性ホルモン様物質)成分や、コラーゲン・エラスチン合成に役立つ成分、皮膚を引き締めるのに働く成分など近頃話題の成分はたくさんあります。色々な成分が製品化されている中、研究が進んでいる9種のものを見てみましょう。



実は、バストアップ機能をはじめ、ボディのメリハリ、ツヤ、フェイスクアにも効果的な成分というのがあります。細胞を活性化させることによるものや女性ホルモンのような働きをするものなど、その種類もさまざま。皆さんはご存知でしたか?

10. 「腕の付け根まで」 9から順に上へ向かい、二の腕を内から外側に巻きつけながら引き上げマッサージし、腕の付け根で止める。反対側も行なう。
9. 「斜め上へ引き上げ」 ※片手ずつ 肘から上へ向かい、反対の手を巻き付けるように内側から外側に引き上げ、(背中が伸び胸が開いていくような感じで) マッサージ。反対側も行なう。
8. 「つまむ」 親指と人差し指の腹を使って、目の下(クマの部分)からコメカミに向かって順番に軽くつまむ。親指と人差し指の内側(側面)を使って、頬の部分も同様に軽くつまんで刺激する。
7. 「引き上げ」 ①~⑥各ポイント部位を片手で引き上げたまま、矢印の部位に向かってのぼす。★の位置に引き上げた指をおき、片方の指でポイントに向かって引き上げのぼす。 ①目の下~髪の生え際まで ②オトガイ~耳の前まで ③口角~髪の生え際まで ④耳の前 ⑤肩から首を通り耳の後ろまで
6. 「全体にのぼす」 フェイスにジェルをまんべんなくのぼしながら、両手同時にあご先からフェイスラインに沿って、内側から外側に順番に引き上げていく。
5. 「ウエストライン」 ※両手交互 ウエストラインをバストに向けて両手でマッサージを行なう。バストを持ち上げるように意識を集中しながら、中央から側面へ、中央に戻り反対側も同様に行なう。

※バストのトップ(乳首・乳輪)にもきちんとジェルをつけます!
※両手とも脇から中心へ(内側上へ)意識し、バストを丸く形作るイメージでバストそのものを形良くします。(乳腺を刺激します)

4. 「乳房の形を整える」 ※両手を使い片方ずつ(各10回) 右手で右の脇の下から右乳房下部を手で包み込み、中心へ引き上げる。左手で右乳房下部の丸みにそって、右の脇の下を通り右乳房上部まで引き上げマッサージを行なう。中央に戻り反対側も行なう。
3. 「デコルテ(胸部)~肩」 ※片手ずつ(3回) デコルテの中心に左手をおき、中心から右肩へ向かって、螺旋を描きながら脇まで引き上げる。中央に戻り反対側も行なう。(内から外に向かう螺旋)
2. 「首筋」 ※両手交互 首中央に手をおき、首筋からあご先に向かって左右の手を交互に引き上げながら肩(側面)まで行なう。中央に戻り反対側も。 ※片方の指先は側面に向く。
1. 「全体にのぼす」 バスト全体とデコルテ部分(胸部)にジェルをまんべんなく塗布する。

理想的なボディ&フェイスを手に入れるために
3分間のかんたんマッサージ方法
※効果を上げるために必ずお読みください。
このマッサージは、お風呂上がりか洗いっぱなしの目的を決めてマッサージの習慣を続けていくうちにバストにハリが。是非実行してみてください。

効果狙いの別目的別
マッサージ

継続は力! 毎日3分間
結果を急がず、やり過ぎに注意! ※お肌に合わない時は一旦使用をおやめ下さい。